



村上神社参道石段で集合写真

9月29日(火曜日)、9時に区役所前に集合して、注意事項とガイドさんの紹介がありました。

24期 藤田芳孝・木村春雄・山田典江の3人のガイドさんは「みずほ史跡ウオーカ」とプリントされた緑のベストを羽織られていました。

参加者は男性15名女性の10名の25名で、2班に分かれて案内していただきました。

今回の案内していただくコースは、自宅の近くで毎日犬の散歩で良く行く、山崎川の鼎小橋・向田橋などの場所です。

最初の目的地は以前、旧瑞穂図書館に行く時、意識も無く眺めていた馬頭観音と東栄八幡社です。何となく見ていた風景でしたが、ガイドさんの説明を聞くと、なるほどと納得して改めて気づかされることも多く、楽しい刺激的な散策になりました。昔、塩は馬の背で運搬され、塩付街道には大切な馬の守り仏として馬頭観音の石仏を祀られました。「この事から色々の連鎖が地名に残り、歴史が作られていることに気づかされました」

この後、村上神社を経て山崎川に辿り、以前この辺は池だったと言うガイドさんの説明を聞き、確かに急な下り坂に「さもありなん」と思いつつ、また、江戸時代この辺りは萩の名所の説明板で納得しました。「何時も何となく見ていたけれど・・・」

近くを歩いていた先輩が「俺、子供の頃、この辺



鼎小橋で山崎川の自噴場所の確認、水面を俯瞰

の池で魚取ったよ!」「へえ」。ガイドブック等できちっと見て学べば古い事も色々なエピソードも、分かるかも知れませんが。今回のように、グループの中で何方なのか知らない人(ごめんなさい)と一緒に歩くのも、また新鮮な感動がありました。

ガイドさんの説明で、より一層郷土史を身近に感じられました。

その後、鼎小橋を渡り、山崎川を上流に向かい向田橋を右折して東山荘に向かいます。

東山荘の回遊式庭園には入れますが、借室しない限り一般の見学者は母屋内部の見学ができないそうです。

ガイドさんの話では、建物は時代変遷による和洋折衷で、日本建築の良い所を生かし、西洋様式の文化を取り込んでいるそうです。「洋室の一部にはスタンドグラスが取り入れられています」とのガイドさんの説明がありました。

今回は建物内部に上がることができないのが少し残念でした。東山荘を後にして、最後は正及神社に寄り、ここで解散になりました。

大変有意義な半日を過ごし、次回も色々な方と一緒に、おしゃべりができたらな・・・と思いました。

ガイドさんどうもありがとうございました。

(撮影 30期 北川健一)



馬頭観音の祠の前でガイドさんの話



東山荘の茅葺の門の説明を傾聴